

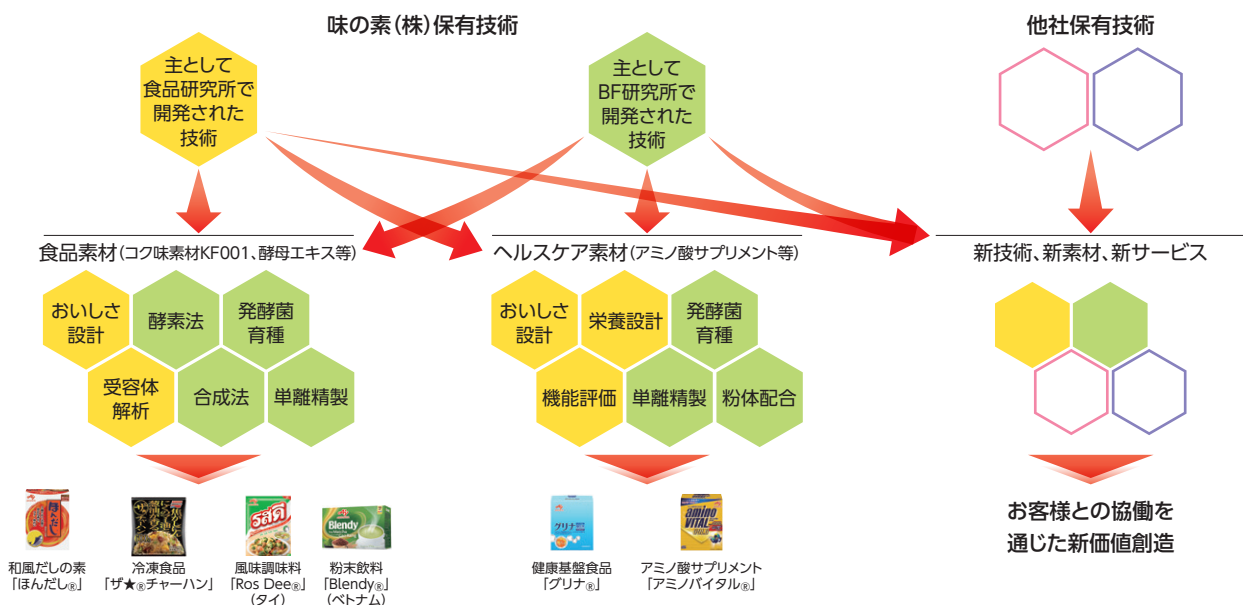
# 研究開発のスピードを上げ、 より迅速にお客様へ価値を提供。

市場環境が激しく変化する中、それらに迅速に対応するため、2019年4月にR&D体制を再編しました。事業に紐づいて基礎研究から製品開発、工業化までを一気通貫することで、機動性とスピードを向上し、持続的な成長を目指します。

新規分野の研究開発や全社横断で技術支援をする味の素(株)のイノベーション研究所について、事業に沿ったR&D体制という観点から、各組織の役割・機能ごとにバイオ・ファイン(BF)研究所、食品研究所、情報企画部、生産統括セン

ターに再編しました。また、外部との連携もさらに強化し、様々な技術を融合することで研究開発のスピードを上げ、より迅速にお客様へ価値を提供していくことを目指します。

## 技術の融合によるシナジー創出加速



## 担当役員メッセージ

### 新体制のもと、新事業の創出と顧客価値の創造を加速させます。

今回の再編により、バイオ・ファイン研究所では特に、イノベーション研究所で集積してきた分析、構造解析、安全性等の広い領域に関する知識、技術、経験を活かし、新事業の創出を加速したいと考えます。クライアント・イノベーション・センターでの顧客とのコミュニケーションを通じた新事業の創出はその一例です。一方、食品研究所ではイノベーション研究所で行われてきた味覚受容体、栄養代謝、健康・医療素材に関する研究を活かし、顧客価値創造を加速する所存です。

新たな体制のもとメンバー全員が力を合わせて多様化するお客様のニーズに迅速に対応していきます。



専務執行役員  
児島 宏之